



H18. 6. 2 1194
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 浜名湖でパトロール 潮干狩り客にルールを守るよう注意を呼びかけ

浜名漁協採貝組合連合会では、5月28日会員約30人が浜名湖内をパトロールして、潮干狩りに来ている一般市民にアサリ採りのルールを守るよう訴えました。

同連合会は昨年7月から、アサリ採りを干潮時の水際から沖合い5㍍までの区間と定め、アサリの資源管理に努めていますが、規制に違反して5㍍を超えてアサリを採る人が相次いでいるため、同会では定期的にパトロールを実施しているものです。

当日は、7隻の船に分乗して、違反者にアサリ資源の保護の大切さを呼びかけ、約2時間をかけて啓発用のチラシを配布しました。

また、同会ではアサリの天敵であるツメタガイの一斉駆除を17日に実施する予定です。

2. 水産物の市況について(平成18年5月及び6月)を公表

水産庁ではこのほど、東京都中央卸売市場における平成18年5月(4月21日～5月20日集計)の市況と、平成18年6月の市況の見通し(前月との比較)を次のとおり発表しました。

平成18年5月の全体の市況=東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計55千ト)は、前月(59千ト)よりやや減少となり、卸売価格(水産物全体の1㍍当たり平均価格836円/kg)は横ばい(前月839円/kg)に推移しました。

平成18年6月の主要品目の市況見通し = 「まいわし(生)」: 入荷量は前月よりやや増加すると予想され、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(魚体は小羽～中小羽サイズ主体) 「さば(生)」: 入荷量は前月と比べやや増加すると予想されますが、卸売価格は既に安値圏にあることから横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域では常磐～犬吠埼沿岸、駿河湾から伊豆諸島周辺に形成) 「あじ(生)」: 入荷量は前月と変わらず横ばいに推移すると予想され、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。(現在の主漁場は山陰沿岸、五島西沖、東海、伊豆周辺) 「まぐろ(生・冷)」: 入荷量は前月よりやや減少すると予想されるものの、卸売価格は需要期も過ぎたことから、横ばいに推移すると見込まれます。 「かつお(生)」: 入荷量は前月より増加すると予想され、卸売価格は弱含みに推移すると見込まれます。(漁は低調ながらも上向き)

3. ご存知ですか? 6月は「食育月間」です

農林水産省では、食に関する様々な経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を身に付けるための「食育」を推進しています。

その一環として、同省ではこれまで、毎年1月を「食を考える月間」と定めて重点的な取り組みを実施してきましたが、今年度より、本年3月に作成された「食育推進基本法」に基づき、毎年6月の「食育月間」に集中的な取り組みを実施します。

詳しくは農林水産省ホームページ「6月は食育月間です」をご覧ください。

4. 海底火山噴火の撮影に成功

(独)海洋研究開発機構と米国立海洋大気庁などの研究チームは、2005年10月、海洋調

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

査船「なつしま」及び無人探査機「ハイパードルフィン」によるマリアナ海底火山調査を実施し、海底火山「北西ロタ1」(北マリアナ諸島・ロタ島の北西約60㍍に位置する)の噴火映像を撮影することに成功したと、5月25日付英科学誌ネイチャーで発表しました。

噴火が確認された水深533㍍にある「北西ロタ1」噴火口では、マグマと海水との接触が不連続的な爆発を引き起こし、約50気圧の水圧により抑えられながらも直径約15㍍の噴火口からは、脈動的に火山灰を吹き上げる様子が確認されました。

5. 第26回全国豊かな海づくり大会写真コンクール作品募集

全国豊かな海づくり大会は、恵みある海の自然環境を守るとともに、水産資源を守り育て、永く後世に伝えることの大切さを国民に理解してもらい、豊かな海づくりに寄与することを目的に、昭和56年から毎年開催されているものです。

今回は第26回大会が10月29日、佐賀県(佐賀市、唐津市、東与賀町)において「響きあう人と海のシンフォニー」を大会テーマに開催されますが、全国豊かな海づくり推進協会では、大会の趣旨を広く皆様に理解していただくために、写真コンクール出展作品を募集していますのでお知らせします。

応募方法: 画題、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業(在学学校名・学年)、連絡先を記入した応募票(自作のもの可)を作品の裏面にテープで貼る 題材: 水産業ならびに海とその生活に関するもの 漁業、漁港、市場、漁村風景、海の生物に関するもの 部門: 中学生の部、高校生の部、一般の部 サイズ: サービス版～ワイド四つ切のカラー又は白黒プリント、デジタルカメラのプリント可 発表: 入賞・入選作品は第26回全国豊かな海づくり大会において発表・展示 応募締切: 平成18年7月28日(金)必着 送付・問合せ先: 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル4F「全国豊かな海づくり大会推進協会内写真コンクール係」 TEL:03-5297-2651

6. 新刊図書紹介 「TAC制度下の漁業管理」

農林統計協会はこのほど、小野征一郎(近畿大学教授)編著の「TAC制度下の漁業管理」を発売しました。本書では、日本の沖合漁業向けの水産資源管理で中心となっているTAC(漁獲可能量)制度について、対象とされている7魚種のTACの動向、TAC制度全体に関する問題について分析しています。

内容はTAC管理の実態分析について、サバ類・マアジ・マイワシ・スルメイカ・スケソウダラ・サンマ・ズワイガニについて言及しています。また、TAC制度の基本的諸側面に関しては、北東アジアの漁業管理、韓国のTAC、TACの国際的な比較、TACの地域での評価、資源学的な問題などにも触れているほか、最後には残された課題や、21世紀のTAC管理の方向性についても分析しています。 価格: 4,000円 農林統計協会 TEL:03-3492-2987

7. 会議・日程(6月6日(火)～6月19日(月))

- 既報分省略 -

6月 7日(水)～8日(木) 共水連県事務所 = JF共済普及研究会 (県水産会館)

6月 9日(金) 県漁連 = 県水産振興推進協議会 (")

6月12日(月) 県養鰻協会 = 通常総会 (ブケ東海)

6月13日(火) 県信漁連 = 理事会 (県水産会館)

6月17日(土) 県漁青連 = 役員会 (ブケ東海)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう